

# SPODフォーラムアンケート(全体用)集計結果

## 事前申込者数

SPOD加盟校から:267名

SPOD加盟校以外から:97名

当日参加者数:469名

アンケート回答者数:207名

回答率:44.2%

## 1. SPODフォーラムについて

SPODフォーラムをどこで知りましたか？(複数選択可)

	度数	割合
① SPODホームページ	45	15.1
② SPODメールマガジン	13	4.4
③ SPODフォーラムチラシ	64	21.5
④ SPOD研修プログラムガイド2010	34	11.4
⑤ SPOD関係者からの案内	102	34.2
⑥ その他	40	13.4
アンケート回答者数	206	100.0

その他の記述内容

- ・ 上司からの紹介(6)
- ・ 同僚からの紹介(1)
- ・ 学内からの案内(15)
- ・ 教育学術新聞(1)
- ・ 昨年度参加者(1)
- ・ 学内研修を通じて(1)

SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？(複数選択可)

	度数	割合
① 自分自身の能力開発のため	140	36.4
② 組織の課題を解決するヒントを得るため	81	21.0
③ 組織を超えた人脈づくりのため	34	8.8
④ FDやSDに関する情報収集のため	74	19.2
⑤ 上司に参加をすすめられたため	53	13.8
⑥ その他	3	0.8
アンケート回答者数	206	100.0

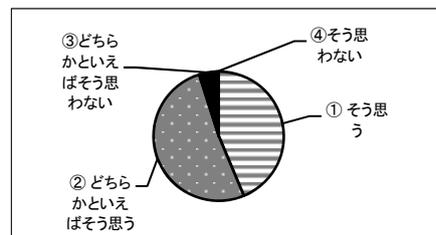
その他の記述内容

- ・ よりよい授業のヒントを得るため
- ・ 大学間連携としてSPOD参加の意義が大きいと考えるため
- ・ コンソーシアムの仕組みを実感するため

## 2. SPODフォーラムでの研修成果について

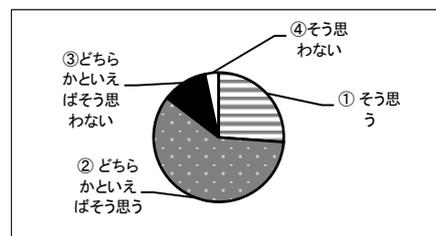
自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	度数	割合
① そう思う	90	43.7
② どちらかといえばそう思う	106	51.4
③ どちらかといえばそう思わない	9	4.4
④ そう思わない	1	0.5
計	206	100.0



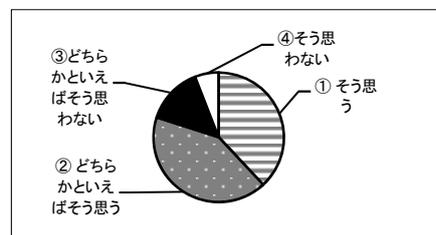
所属組織の問題解決に役立つ情報を入手することができた

	度数	割合
① そう思う	54	26.2
② どちらかといえばそう思う	122	59.2
③ どちらかといえばそう思わない	23	11.2
④ そう思わない	7	3.4
計	206	100.0



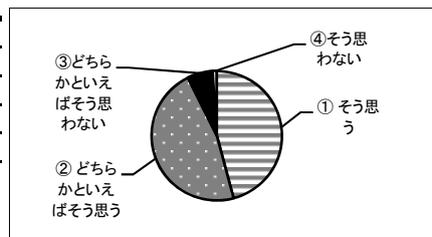
組織を超えた交流を持つことができた

	度数	割合
① そう思う	78	38.0
② どちらかといえばそう思う	86	42.0
③ どちらかといえばそう思わない	29	14.1
④ そう思わない	12	5.9
計	205	100.0



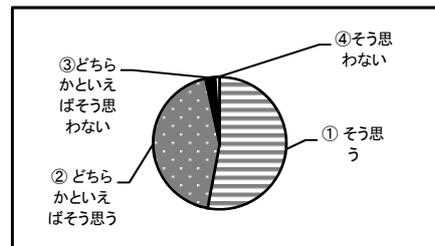
フォーラムで学んだことをすぐに職場で実践したい

	度数	割合
① そう思う	94	45.9
② どちらかといえばそう思う	96	46.8
③ どちらかといえばそう思わない	13	6.3
④ そう思わない	2	1.0
計	205	100.0



SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった

	度数	割合
① そう思う	109	52.9
② どちらかといえばそう思う	90	43.7
③ どちらかといえばそう思わない	5	2.4
④ そう思わない	2	1.0
計	206	100.0



3. 感想、ご意見、ご要望等 (別紙参照)

4. 参加者ご自身について

所属先

	度数	割合
① 4年制大学	175	84.6
② 短期大学	22	10.6
③ 高等専門学校	7	3.4
④ その他	3	1.4
計	207	100.0

その他の記述内容

- ・ コンソーシアム(2)
- ・ 専門学校(1)

所属先の設置者

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	92	44.7
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	93	45.1
③ 学校法人	19	9.2
④ その他	2	1.0
計	206	100.0

その他の記述内容

- ・ 公益財団法人(2)

所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	139	67.2
② 東北	1	0.5
③ 関東	15	7.2
④ 中部	15	7.2
⑤ 近畿	14	6.8
⑥ 中国	18	8.7
⑦ 九州・沖縄	5	2.4
計	207	100.0

職種

	度数	割合
① 教員	80	39.4
② 職員	121	59.6
③ 学生	1	0.5
④ その他	1	0.5
計	203	100.0

その他の記述内容

- ・ 教員・事務職員兼務(1)

あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	48	23.2
② SDの実施担当者	21	10.1
③ FDとSD両方の実施担当者	11	5.3
④ FDやSDの実施担当者ではない	127	61.4
計	207	100.0

## SPODフォーラム自由記述欄 良かった点とりまとめ

### 【内容について】

- 自己開発的なプログラムがあり、参考になりました。
- 学生支援に関する心構えや対応について、認識を深めることができ、また、様々な事案を想定した体制の整備及び事案が発生した場合の対応について、理解することができました。
- もともと興味があった学生相談やキャリア支援、学生の学びの促進要因などの内容について学ぶことができたことと、他の大学等の教職員と話ができたこと。
- 学生対応のプログラムに参加したのですが、直に学生の相談を受けるロールプレイは他の研修会には無く、学生の生の意見が聞けて大変勉強になりました。（４）
- DP, CP, AP の一貫性のある構築について、とても参考になりました。
- 異なる分野、教育手法のプログラムに参加することにより、自分の視点を変えることができた。学生指導のヒントが得られたと思う。
- シンポジウムのように、単に情報や知識を得るのではなく、ワークショップ形式で自ら考え意見する場だったので自大学の問題について整理できた。
- SDはまだ各大学で研修プログラム等模索段階であるが、SPODでは体系的なプログラム、組織、人員、ノウハウが整っており、先進した知識や研修を得ることができた。また参加している各大学の参加者も意識も高く、モチベーションが上がった。皆さんと交流することができ全国の大学の参加者とのネットワークづくりが出来た。とても貴重な経験でした。
- 四国キャンパス元気プロジェクトでSPOD加盟校所属の学生さんも参加していること。
- 実践を考慮した内容であったので良かった。（１１）
- FDの実施について行き詰まりを感じていたので、その打開へのヒントを得ることが出来た。
- SDを進める上での方向性の確認ができた（２）
- 担当業務とは直接関わらないと思いながら参加したプログラムでも、同じ大学職員として大変参考になる内容でした。
- 教員だけでなく、職員や学生も参加したこと。（２）
- 所属組織の問題解決に向けて具体的な情報を得ることができた点。概論的な部分のみではなく、ワークショップなどにより理解を深めることができた点。（３）
- 「メンタリングのコツ」での内容は、現在の職務である学生との履修相談等にそのまま使えるのではないかと感じた。
- 現場の教員のFDの状況やレベルに即していて、そのニーズにあっていること
- 学んだことを、秋学期の授業にすぐに生かせること。
- 研究室運営・・・考え指導している部署があって取り上げている問題点がわかった。
- 広報室運営・・・広報と危機管理の２点について外部と相対している部署の存在と活動がわかった。
- 授業コンサルテーションの実態と利用価値がわかった。
- 座学だけではなくワークショップタイプであるため、従来になく楽しみながら受講できました。（１３）
- 学習評価でのルーブリック評価はICTを活用した授業に有効であることを知った。（２）

- 授業アンケート，授業参観は目的を明確にして，それが実現するよう実施することが重要であることが分かりました。
- 寺崎先生のリーダーセミナーにおいて，大学人として身につけておくべきものを指摘していただいたことが大変役にたった。
- 研修の目的（到達点）が明確であり，分かりやすい。
- プログラム「教員主導・学生主体の授業の進め方」に参加し，「参加者主体」手法の体験から「参加者主体」を実感することができました。後期の授業から実践したい内容ばかりで，とても有意義なプログラムでした。
- クリッカーという装置を使った大人数クラスでの活用法を，新たに学べた点。
- 教育改善の具体的な方法について，授業テクニックの部分から動機づけまで，いろいろな観点から説明をいただき，大変勉強になりました。また，グループワークやワークを通じて他大学の状況や，問題の解決の事例について知ることができ，すぐに実践できることが多かったと思います。
- 大学での講義に関して，チームビルディングによるグループワークを知り，改めて「高等教育機関における授業」という観点で捉え直すことができた。
- 一専門学校職員が参加できるSDプログラムはあまりないので，良かったです。
- 「学生主体の授業」について，改めて考える時間が持てた。シラバスや教材を作成するときに，役立てたい。
- 職員の方が，講師役として，セミナーを実施している点。これからの職員像を実践されており感銘した。懇親会前に学生がプレゼンテーションを行った点。是非来年も実施して下さい。
- わかりやすい内容のプレゼンに実技講習で時間があつという間に過ぎてしまいました。もう少し実技の時間がほしかったです。
- 導入としては適切であったと思うが，もう少し専門的なことも聞きたかった。
- すぐに実践というわけにはいかないが，改善したり検討したりする材料にはなった。
- 愛媛大学をはじめ，各大学の事例について詳しく知ることができた。（3）
- FDに関する最新の情報を聞くことができたし，他大学の状況がわかった。（6）
- 悩んでいる点が共通していること，またそれに対する回答となるヒントが得られたこと。
- 日頃の自分自身の業務を客観的に振り返る機会となり，必要な知識やスキルを身につける動機付けになった。（3）
- 新たな知識・考え方を得ることができた。（4）
- 今後の学生指導に役立つ内容が多かったこと。（3）
- FDの基本姿勢について幾つかの知見を得ることができた。たとえば，学校をコミュニティと考えるとき，FDに取り組むにあたっては，学科と全学的な教育目的はもとより，学校の目的（教育に限定しない）まで視野に入れることが必要等。
- 様々なFD/SDプログラムに関する情報収集ができた。（2）

## 【その他】

- 他機関の方と交流でき、学内では得られない生の情報を得られたこと。そして、人のネットワークが広がったこと。（39）
- 能力開発というと外部業者・外部講師に委託することばかりでした。
- 時代の傾向を先取りまたはタイミングよく捉える形で研修をしてくださるので、これまでも大変役に立っていますが、今回は私どものようなスタッフのいない小規模な組織に配慮したプログラムも提供していただき、有意義でした。
- 参加予定者の代理で、「教員主導・学生主体の授業の進め方」に参加したのですが、想像していたものとは全く違った面白い内容で、参加できてよかったと思いました。学生（参加者）の気持ちのつかみ方や記憶に残す方法などを実践主体で学び、講義が終わったときに、今日やったことの全てが繋がっていたんだなと感動しました。また講師の中村先生の、テンポのよさ、面白さ、行動力など、刺激を受けることも多く、人気のある方だと聞いて納得しました。こういう楽しくてためになる研修は初めてだった・・・充実した1日になりました。
- 昨年度と比べて、非SPOD校の参加者でも参加可能な日数が増えたことが良かった。

## 【感想】

- 去年よりももう少し理解度が上がったと思える点。
- 日常業務を俯瞰して分析する事が出来た。
- 業務上のTIPSを獲得することができた。
- 参加者の反応を如実に聞くことができた。
- 豊富なプログラムがあり、楽しみながらいろいろな学びを得ることができました。自分の講義の見直しができ、自分が自然にアクティブラーニングを実践できていることも分かり、知識が加わったことで強みとなりました。（5）
- FDやSDなど、普段から何となく使用しているものの、各人によって定義が微妙に異なる語の本来の意味を、みんなが共有できる（共有する）ようになりつつあることが大きいと思う。
- 講師、参加者共に、積極的な人たちばかりで、刺激された。また、自分の現実的な職務に近いテーマのプログラムに参加したので、自分自身も積極的に参加できたと思う。（5）
- 非常に勉強になった。（2）
- 短期間で質の高いプログラムをいくつも受講できたこと。
- 愛媛大学での教職員のお話や学生と触れあうことで、学生支援の根底にある考え方を理解することができました。また、参加された他大学の学生支援に関わっておられる方々と交流でき、全体動向をある程度把握することができました。
- 運営関係者様には感謝申し上げます。
- 全国から様々な方が集まる研修の場が四国にあることがとてもありがたい。
- 以前参加した研修で一緒だった人と再会することが出来たので、親近感が強まった。

## SPODフォーラム自由記述欄 改善点とりまとめ

### 【開催時期について】

- 8月末は学内の行事，クラブの引率等の出張が多いので，9月上旬の方が参加しやすい。会場は現状で問題ない。
- まだ，全国的にはSDに係る知識と認識については各大学の職員の隅々まで浸透していない。参加者を増やして継続的にSDプログラムが浸透するよう，職員の和を広げて行くことが肝要であると思う。開催日程は盆明けの時期が都合がとりやすいのではないのでしょうか。
- 今回のように，比較的業務に融通がきく7月・8月開催が参加しやすいと思います。
- 夏休みなど時間的に余裕があるときの開催がありがたい。今回同様今後も8月末から9月始めの開催が一番よい。会場は，愛媛でしてもらうのが一番都合がいい。
- 日程が長いので，もう少しコンパクトにしてはどうか？
- 開催日時に関して，開催日が平日ですと，授業を休講し後日補講を行う必要がありますので，平日を避けるか学生が長期休暇中に開催していただくと，参加しやすいです。
- 開催時期はやはり夏期休業中を利用することはよいと思います。
- 8月上旬が希望です。

### 【会場について】

- 使用する施設の選定に関して，しっかりと準備をさせていただいているものの，この夏は特に暑かったので，環境面でのフォローをより充実させてほしい。（3）
- 長時間に及ぶ研修の場合，椅子を座りやすいものにしてほしい。

### 【シンポジウムについて】

- シンポジウムの時間が，短いのではないのでしょうか。
- シンポジウムをもう少し身近なトピックスにする。

### 【プログラムの内容について】

- 会の性質上仕方がないのかも知れないが，高専も対象に含まれている割には大学中心の話題や構成であったため，高専職員にとっては意義が低いのではないかと感じた。
- グループワークの課題設定が段階を踏んでいない場合に飛躍し過ぎることがある。
- SDのプログラムがもう少しあってほしいです。（2）
- 複数の分野や課題があるテーマでは興味のバランスが悪いことがある。
- 標題と到達目標にギャップがある講座を感じたので，そのあたりを修正いただくと助かります。
- 文系の講義を対象としたものが多かったため，理系の講義を対象とした具体的なFD講習になっていればさらに良かった。
- FD・SD共通に関しては，SDとFDを分けた方がいいと思うものもあった。

### 【プログラムの進め方について】

- 大学同士の意見交換等がもっとできると良いと思いました。
- 教員として参加したが、研修内容と普段の業務内容とがいまいち一致しなかった。次から次へと課題が出され、ただこなしたという感じだった。
- ワークショップ形式が中心の講習では、研修に参加したという実感は強いが、終わってみれば結局得られたものが少ないような気がする。
- 時間内に予定していたプログラムを進められなかった点がマイナスに感じました。
- グループワークを増やす。

### 【プログラム個々の運営について】

- 各プログラムのメインの対象者を内容および職名等に応じて表示して欲しい。実務ですぐに役立つ場合やこれからのキャリアを考慮して知識等を身につけたい場合によって受講プログラムを選びやすいようにして欲しい。
- 講義により、アイスブレイク、協議等の時に他のグループが近くで話が聞こえづらいことがあった。グループ間の距離等にも考慮してほしい。講師あるいは講習内容を厳選するべきではないかと感じられる講習があった。
- 活動内容がもう少し細かく書いてあるほうがイメージしやすい。
- あらかじめ参加者の疑問点や問題点を吸い上げてもらえると内容に関心が持ちやすい。
- 演習の中で、年数を重ねた上の立場（役職）の人同士ではそれぞれの主張が折り合わないことがあった。また、立場や年数が違いすぎても話について行きにくい。グループ編成に偏りが生じないようにして欲しい。

### 【プログラム全体の運営について】

- 研修的な部分は十分だったので、各大学の直面している課題等を出し合って解決のヒントが掴めるディスカッションの場があればさらに充実すると思います。
- 二日間継続して受講を義務づけられていましたが、この3種の内容を一人の人間が学内で関わっていることは少ないのではないのでしょうか。自分に身近な問題は大変役に立ちましたが、そうでないものについては、私が聞いてもあまり役に立たない気がしました。
- 学生支援セッションに関しては、一定程度の経験年数を関わり、そこでの苦勞を積まれた方が講師を務めていただくことが望まれます。参加者のレベルが多様なので、入門的なところから開講せざるを得ない事情は理解できますが、3プログラムセット受講を薦めるのであれば、レベル表示をして参加者のニーズに添うプログラム開発が必要と感じました。
- 今回は受講科目の制限が多かったので、その緩和をして頂ければ幸いです。（2）
- プログラムがワークか聴講か討議かどういったものが中心になっているのかももう少し分かりやすいとありがたいところです。ただ参加者数によって対応いただいているところもあるかと思いますが、難しいところですね。（2）
- 多くのプログラムを用意していることは理解できるが、FD/SDプログラムが何本も同時進行しているため、聞きたいプログラムが聞けない。（3）

- 各プログラムの教室が、頂いた資料や、掲示で分かりにくかった。
  - 学生指導研修会を同時開催したために、この研修会のプログラムから一つのテーマだけ選択して参加するというようなことが、仕組み上できなかつたのは残念に思う。この研修会のプログラムであっても、関心のあるテーマに（部分）参加ができる工夫をしてもらいたい。
  - ランチタイムの交流は、時間が短い。交流を盛り込むのであれば、もう少しゆったりと時間を取る方がよい。また会場へのアクセスだが、四国県内での開催であれば、交通事情を考えると自家用車の乗り入れができる体制をつくるべきである。地の利がない参加者には不便である。
- （４）
- 複数のセミナーが同時並行で進められるため、他会場で何が行われているのかを知ることができればなおよかった。
  - プログラムの内容的な重複が見られたので、極力避けていただきたい。
  - 継続した受講が必要となるものについては、同一日に実施していただけると出席させやすい。
- （３）
- 学会のようにいくつもの会場を平行して使用し、講演を実施することはあまりよくないと思う。聴きたくても聴けない講演が重なる場合もでてくるため。
  - 同時間帯のプログラム設定に配慮がほしかった（３日目の「広報」は同時間帯にいいのがなくてとりあえず申し込んだ人が多かった）
  - 夜間も参加できる短時間プログラムがあつたらと思います。
  - 学生と協同で行うセミナーは来年も開催してほしい。
  - 講義形式の研修メニューは午前中に、午後はワーク中心行なつた方がよいと思った。

### 【フォーラムの運営について】

- 実施会場を持ち回りにしてはどうか？
- 申し込み方法が煩雑。（２日間連続受講など・・・）
- クロークの手配や食事場所の準備など、細かい点まで気を配っていただき、快適に研修に参加することができました。開催日程や会場等は適切だと思います。（９）
- 参加者への最終連絡が前々日であつたので、もう少し早くても良いと思ひました。前泊で愛媛入りしたため、mailを見落とすところでした。
- 会場については、松山大学とも連携してはどうか
- 参加したくても業務の関係で参加できない場合もあるし、参加者からの報告だけではなく実際に職員に参加を促したいので、次年度も同じ内容の研修をしてもらいたい。
- 年１回ではなく、年２回にしてほしい。（この時期一回だと、都合つかなければ来年となつてしまうため）
- 参加人数の集計において、大学・短大併設校は一括した人数になっているが、別々に示していただくと、学校種ごとの傾向が分かつて参考になりやすい。
- 懇親会や昼食会が最終日だったので、業務のため帰らなければならなくて参加できず残念でした。

- 人気のあるプログラムに参加できず、それに関する情報が、後日 HP などで見られるようにしてほしい。(3)

### 【その他】

- 愛媛大学様におかれましては先進的な取り組みが進んでいるように感じられますが、ほかの大学においては教員がさほど乗り気ではないということが多々見受けられます。そういった教員ならびに職員にいかにかことの重大性を気づかせられるのかといったことが話せればよいのではないかと思われます。
- 遠隔講義は、とてもありがたかったです。
- 事前学習があれば、より研修の効果もあげられるのではないかと思います。必ずしも研修テーマに関連する業務を行っているわけではありませんので、研修目標や当日の課題等に繋がる課題等をいただければ、現場の状況、組織対応の現状などを把握したうえで問題点や自身の課題をもって参加でき、より効果があげられるのではないかと考えます。ただし、事前学習は任意とする。
- 四国エリアの取組ではあるが、出張研修会などのイベントを他の地域で実施することで、異なる反応を得ることも可能になるのではと考える。
- 特にありません。今後も同じような形で続けていただきたいです。(7)
- 参加者の同意のもとで構わないので、各プログラムの参加者名簿を配布していただくとありがたい。同じ島に座った者同士での自己紹介はできるが、限度があり、人脈を広げるためには名簿情報があると助かる。日程や会場は適切だと思うので、来年度も変わらず実施していただくとありがたい。
- 是非一度、東京で実施して頂けないでしょうか。開催日時には問題はないかと思います。
- 8月26日(木)の秦講師が担当のプログラムの「大学職員のための企画力養成講座」に参加させていただきました。身近にある問題(課題)についてチーム内で検討し、改善策等を検討するものでしたが、各大学等の現状がわかり大変役立ちました。時間の関係で、一部のチームのプレゼンテーションしか聞けなかったのが残念です。可能であれば、今回は、すべてのチームのプレゼンテーションの発表を聞く時間を取ってもらいたいです。(改善策等ですばらしいアイデア等がたくさんありました。)
- 多くの内容をまとめられて大変なご苦勞があったと思います。

## SPODフォーラム自由記述欄 開講希望とりまとめ

### 【FD／SD】

- F D e r , S D コーディネーターを実践的に養成するプログラムを開講して欲しいです。
- 医療系, 工学系, 理学系等の専門分野における活動方法のプログラムも開講していただきたい。  
(2)
- 大学の教職員の, 服装, 髪スタイルと色, 爪の色, 靴, 話し方, 接客, 対学生への対応, 電話の仕方, 等について, チェック項目による自己確認ができる内容を含めて, 大学職場内のマナーについて広い範囲でしていただきたいと思います。
- 短期大学をターゲットとしたFDやSDの組織づくり。
- FD・SDの先進的事例の紹介等があれば良い。
- 教員に対しての危機感の享受方法な, 意識的なものもあればよいのではないかと思います。
- 教員も職員も等しく「大学職員」であり, 職名の違いは大学のミッション達成のために受け持つ役割の違いによるもの, という考えに立てば, こうしたことが実感できるようなワークショップやセミナーがあってもよいのではないか。
- FD・SDのPDCAをまわすためにも, 教職員の活動の評価手法に係るプログラムを実施されてもよいのではないでしょうか。(3)
- 教員側がどこまで職員の領域, 例えば予算執行や人事等に意見を述べられるか(口をはさむべきか), あるいはその逆(事務職員が教員に対して意見を述べられるか, 述べるべきか)の問題, すなわち教職員の相互関係みたいな話題について。
- I Rなどの専門家養成プログラムなど(2)
- 学生相談に関する研修を多く受講させてもらったのですが, 学生のメンタル面のサポートについてや教職員でもできる学生カウンセリングの方法などのプログラムがあれば受講してみたいです。
- 「発達障害の学生に対する理解と支援」に関する講座(2)
- 大学教育とは何か?といった, 根本的な話があると面白いと思います。共通教育と専門教育の割合とか, 大学全入時代における大学の役割とか, 聞いてみたいです。
- 学生から受けるストレスへの対応
- 法改正により来年度から「情報公開が義務化」されますが, こういった大学行政の動向などを職員にわかりやすく伝えるプログラムがあると良いのではないのでしょうか。
- 障害学生支援に関しては, 今後も続けて欲しい。入学に際して, 学内での適応(講義, クラブ, ゼミ等), 就職とさらに詳しく, 今後も検討していく必要性を感じる。

## 【SD】

- SDプログラム開発手法 人事交流について チームビルディング手法
- 「大学の職員力」をテーマとしたSDプログラム
- 職員がおこなう授業コンサル。
- 窓口対応実践
- 指導困難な学生（生活面，精神面）へのケア，組織作りのヒント
- FDを担当する部署の職員向けのプログラム（小規模校では，FD担当の専任教員が配置されていることは少ないため）
- 職員向け 文章の書き方
- 人事政策について，例えば，人事異動の効果的な実施方法＝職員の活かし方など。スタッフ・ポートフォリオの活かし方などは今後の大きな課題かと思います。
- 職員としてかかわるFDとは何か
- 学務系，学生支援系など担当部署の専門的な素養を身につけられるようなプログラム。（2）
- 管理職のマナー，ハラスメントについて，またハラスメントの対応，危機管理，マスコミ活用方法，学生対象のアンケート調査のまとめ方
- 民間意識を意識したSD研修プログラム
- SDで職員の育成において，ジェネラリストとスペシャリストの有用性を国別比較なども交えて，ディベートできるようなプログラム。

## 【FD】

- 勉強に集中できない学生のいる授業をどのように運営するべきか，に関する具体的なスキルを身につける研修。
- 専門基礎教育における双方向型講義の実践。
- グループワークの授業評価と問題点。
- 実験・実習の評価と問題点。
- 実験系の研究室運営の実際と問題点。
- 自然科学系の授業の課題と問題点。
- TBLについて
- 「授業アンケートの効果的な取り方，分析法」など。授業アンケートは全学的には有効ではあるが，個々の授業ではいい加減な回答が多く授業の実態を正しく反映していないような気がする。
- 就職では全人的な能力が問われます。学生が最も長い時間を過ごす授業の中でこの力を少しでもつけさせられればと考えています。FDと就職との境界領域に関連する研修を企画して頂けることを希望します。
- 学習成果の可視化に関する最新情報の提供や，推奨手法の実際のワークショップなど（ループリックは役にたっていますが）。
- 実践を通して初年次教育をしていくいくつかの方法
- プログラム「教員主導・学生主体の授業の進め方」の継続

- 「成績評価のあり方」「GPAの活用」「FD推進のための組織論」「成績不振者への対応」「発達障害等への組織的サポート」「教職協働を実現する職員の役割」「FDを促進する他大学連携」「教員FDハンドブックの作り方」「教員負担の軽減」
- 各教科の授業改善やFDワークショップ
- ティーチング・ポートフォリオでもメンターの役割が重要だとのお話がありました。各学校でメンターを育てることが必要になると思いますが、スタッフ・ポートフォリオ作成のためのメンター養成講座などがあれば参加してみたいです。
- #1 インストラクショナル・デザイン #2ICTを活用した授業改善ツールの紹介・活用
- カリキュラムポリシーの構築方法（教員の意見の集約および統一の具体的な方法などを学びたいです）
- コーチング
- FDが組織的活動であるが故に、実行主体である教員個人のメリットに深く関わる点が見落とされがちになる感があります。そのあたりの調和を見えやすく・分かり易くしていく工夫がFD担当者には必要なのかなと思います。この点、ティーチング・ポートフォリオの存在がひとつの鍵になるのかなと思うので、これを軸にした企画があればまた参加したいです。

#### 【その他】

- 国立大学の入口のための広報とは。
- 高校との連携活動の実際と問題点。
- 企業との共同研究の実際と問題点。
- 就職活動の実際と問題点。
- 中村先生のワークショップ二日目の内容。通常二日間で行っている研修の1日目の内容を昨年、本年と実施していただいたようです。来年度は1日目の受講者向けに2日目の内容をやっていただけると嬉しいです。
- （株）ラーニングバリューの自己の探求プログラム、ファシリテーター養成プログラム
- 寺崎先生の唱えた「政策理解」を深めたい⇒そのために現在の政策動向の講座
- 自校教育の展開方法。
- SPODの取り組みにおける具体的な業務活用の事例など
- 業務の都合で、「一人ひとりが広報パーソン」に参加できなかったが、次回、機会があれば参加したい。
- 研修事業の企画・遂行について（SPODがどのように進められているのか）を研修として開講していただきたいです。

### 【プログラム全体への希望】

- 色々なワークの手法を学びたいと思っています。
- 初年者向け，中級者向け，執行向けと明確に分ける企画が増えても良い。
- 今年で2回目ということですが，評価の高かった講座については毎年開講していただき，自分の後進の人間も参加出来るようにしていただければと思います。
- 今回，学生が関わる WS が充実しており，学生の考えや思いを知る機会を得ることができました。そのような学生が参加する講義を増やしていただきたいと思っています。

### 【感想】

- いろいろと準備していただいているので，今のところ，特にありません。（3）
- 今回の内容はとてもよかったですと思います。
- 職員同士が能動的に研修に取り組めるよう，ワーク型の研修を増やし，各々の参加者が汗かいて，身を感じて実習内容を体感できるようにすれば，効果はより高いと思う。（2）

## SPODフォーラム自由記述欄 ご意見・ご要望とりまとめ

### 【内容について】

- 昨年も参加させていただきましたが、今年度の方が“愛媛大学”がやっているという感じが強かったように思います。良いか悪いかは別にして、色々な大学の先進事例等を聞く機会があればと感じました。
- 総じて、いずれの活動もある意味有意義で新鮮なものと感じます。しかし体験してみないと全く良さがわからないのと、参加するモチベーションが高めにくい活動なので、教員を誘導する方法、内容を吟味しなければならないのでは？と思います。初めての部署、初めての責任者、新任など、少し偏重した立場の教職員しか現場に出てこないのでは？と思います。参加した自分自体が何故参加したのか？と聞かれると、正確に答え難いです。参加してみると更生のために参加させられているような錯覚に陥ります。
- 今後もSPODの研修プログラムを積極的に活用していきたい。できれば、今後、総務・人事・会計・管理などの部門の研修プログラムも開発してもらいたい。
- 授業改善（FD）に関しては、授業の部分的なハウツーもよいが、授業全体を見ることができると良い。一押しの授業のライブ配信などをしてもらえると参考になる。
- ワークショップの時間を少し短くし、交流や休み時間を増やし、学生との交流も増やす。最後にシンポジウムをもう少し最前線に立つ先生方に役立つものにする。
- 名札を手書きするのは面倒。

### 【運営について】

- 他県からも参加しやすいような工夫（他県での開催、ビデオ、テレビ会議システム、e-learning、等）をして頂きたい。（2）
- 主幹校である愛媛大学とコア校、あるいはその他の参画校との役割分担と負担分担について、もう少し明確にしてほしい。

### 【その他】

- SPODは先進的な取り組みを行って、参加者は開眼できるのではないのでしょうか。提携校を増やし、普遍的になれば、日本の大学も全体的に高揚していくと思います。
- 規模の大小はあるものの、国内にはSPODと同様の活動を行っている団体が多くあると思うが、それらが個々に活動するだけでなく、合同大会を開く等連携すれば活動の広がりが出るのではないかと考える。
- （既にも実施されているかもしれませんが）FDについての講演講師の派遣、自大学のFDについて診断して助言をしてくれるコンサルタント業務があれば望ましい。
- 大学人としてお勧めの書籍の紹介
- 汎用性のあるプログラムについては、高等教育機関における教職員養成の「共通教育プログラム」として各機関とライセンス契約することも考えておられるのではなかろうか。
- 大学単位でおこなえばよい。

- ネットワークコア校だけが提供する側になるのではなく、参加各校が、たとえ小規模校であっても、それぞれの特色を活かしてできる範囲で何かしらを必ず提供するように方向付けることによって、相互に刺激が生まれ、SPODの活動がさらに活性化するのではないのでしょうか。
- 来年は何処で開催するのでしょうか？是非早めに教えて頂ければと思います。
- 大学に所属する方の研修の場ですが、関係自治体、学校教育に関わる民間の方など（キャリア教育など）対象を広げることで、さらに多くの学びや広がりになるのではないかと思います。
- 組織体制、実施体制がすごく整っていると思った。GP事業と聞いているが、予算執行明細が知りたい（予算内ですべて実行できているのか）
- 私や私の学校の現状は今回のフォーラムのどのプログラムも必要としているように感じています。学生の利益を考えると直ちにパーフェクトなFD活動が求められているわけで、焦りも感じますが、時間をかけて進めていくしか方法はないとも思っています。

### 【今後への期待】

- 今後も全国的な情報発信、公開を続けていただきたい。
- フォーラムを含め、より一層充実させていただきたい。（2）
- 四国発（地方大学）で、これだけのことができているということが、他の地方大学からも何か事業を発信するきっかけとなるかもしれないので、今後とも是非続けて欲しい。
- 大変素晴らしい事業を展開され、成果もあがっていらっしゃると思います。今後とも我が国のFD、SDプログラム開発の先頭を走り続けていただけるとありがたく存じます。（3）
- 今年度で文部科学省からの予算がなくなるとお伺いしましたが、今後とも是非ともSPODフォーラムを続けていただきたいです。（4）
- ネットワークが年々有効に機能してきているように思います。SPOD加盟校が画一的になることなく、今後もお互いの長所を活かしつつ、学生の利益のために活動していける、と期待しています。
- 今回初めてSPODを知りました。中国四国地方の大学関係者の中には、まだSPODを知らない人がいるかもしれません。もっと多くの人に、SPODの事業を知ってもらえると良いと思います。（2）
- すみません。具体的な改善などはまだ思いつきませんが、また上司の許しが得られれば来年度も参加させていただければと考えておりますので、是非来年度も四国地区以外にもその門戸を解放していただければ幸甚に存じます。（2）

### 【感想】

- 初めて参加しましたが、国立大学・公立大学の方の参加が多いのに驚きました。逆に私立大学の方はなぜもっと参加しないのかと、不思議であり残念でもあります。
- 何にしても生かすも殺すも本人次第ということもあるが、参加者がより積極的に話し合いに加わるためにも、日常的な各組織での意識レベルを高めるような良い仕組みができたらと思う。

- より多くの人に機会を与えていただければと感じました。実務研修ではない科目も多くあると思うので、新人から管理職級まで、多様な職階の方が同じ科目を受けることは魅力的です。他組織の実情を聞く機会もあり、個々の意識向上につながる事業ではないかと考えます。
- 四国地区にこのようにすばらしいネットワークがあることを始めて知りました。四国の大学・高専でスポットのフォーラムを行っていただけるとありがたいです。
- 大変勉強になりましたが、正直レベルが高いとも感じました。
- 今回初めて参加させていただきましたが、組織内での問題解決の手法や広報の方法等、様々な内容が学べました。
- 素晴らしい取り組みであると思います。学生もより入っていければさらに良くなるのではないのでしょうか。消費者と生産者という立場でものごとが見ることができると思います。（２）
- プログラムの概要に「到達目標」が示されており、何が学べるかが明確であるため、プログラムの選択がしやすいと思います。
- 案内表示が分かり易かったです。教室の環境も快適で、スタッフの対応も良く、気持ちよく参加できました。ありがとうございました。（４）
- バリエティに富んだ講座が開設されていた点がよかった。また、他大学職員との交流も深めやすいプログラムになっていて大変良かった。（２）
- 有意義なフォーラムに参加させていただき、ありがとうございます。開催にあたって関係者のご尽力に御礼申し上げます。（４）
- 非常に有意義なフォーラムです。（６）
- 今後も興味あるプログラムについては積極的に参加したいと思います。（３）
- これだけの内容を、これだけの期間実施するのは相当の力量と時間をかけておられると思います。しかも、それが無料で実施されるというのは皆さんのボランティア精神がなければできないことだと思います。スタッフの皆さんの熱意と努力に心から敬意を表します。本当にお疲れ様でした。